



【 「生き方学習」：6年生との授業 】

○ 3月10日（木）、11日（金）と続けて、「生き方学習」として、6年教室で授業をさせていただきました。「勉強をする意味」「野村克也氏の名言」「卒業式に向けて」の3点をテーマとしました。担任としての現役のときは多少の自信があった授業ですが、日頃授業を



していない現在、6年生にとって価値あるものになったかと問われると、申し訳ない思いがあります。それでも、6年生の子供たちは話を聴いたり、考えたり、発表したりして、ありがたいと思いました。

○ 「卒業に向けて」に関しては、私は、自分の幼稚園、小学校、中学校、高校のときにもらった卒業証書を提示しました。そして、「小学校の卒業式は一生に一度。卒業式には、卒業証書をもってはじめて卒業するということになる。卒業証書をもろうということは、小学校でのやるべきことはしっかりやった、堂々と中学校に進学できるという意味である。だから、卒業式は、堂々とした態度で卒業証書をもってほしい。そのために、『最高の返事をする』『学校長の目を見て礼をする』『ステージ上で卒業証書をもって堂々とステージ下にいる人を見る』という三つをすることが重要である。」というようなことを伝えました。

○ コロナ禍で、在校生全員や本来招待すべき来賓の方を体育館に来ていただくことができない状況です。そのような状況の中で、6年生の子供たちが小学校生活で学んだことを誇りとして、堂々と卒業してほしいと切に願います。そして、6年生は5年生に見本を見せると思っています。保護者の皆様には、お子様の晴れの姿をぜひご覧ください。

